

明日の流山を考える ～流山市次期総合計画だより～

第2号
平成30年9月発行

皆さまのご意見をもとに流山市次期総合計画の策定を進めています！

次期総合計画の策定状況を市民の皆さまにお知らせするため、「明日の流山を考える～流山市次期総合計画だより～」を発行しています。

今回の第2号では、流山市の将来について市民や事業者の方々にご検討いただいた内容をご紹介します。なお、掲載している意見は一部抜粋したものです。詳しい内容については、市ホームページより各報告書をご覧ください。

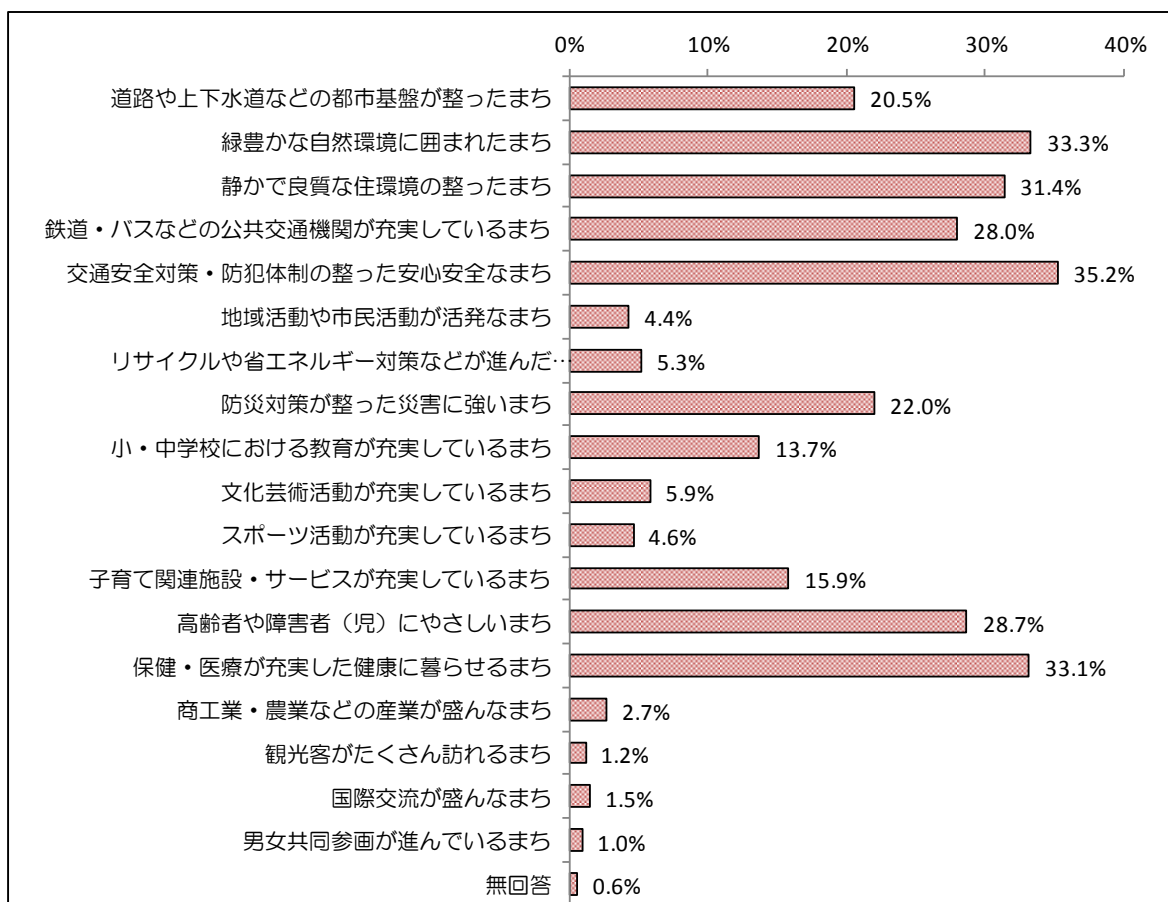
市民意識調査を実施しました（5月実施）

○無作為抽出により市民3,000人（回収数1,747票）を対象として、市民の皆様のお考えを把握し、計画づくりに反映させるため流山市民意識調査を実施しました。

- ◆ 住みやすさについて「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の回答の合計が91.6%、定住意向について「ずっと住み続けたい」、「当分の間住み続けたい」の回答の合計が78.4%となるなど全体的に満足度は高くなっています。

住みやすい	49.1%
どちらかといえば住みやすい	42.5%
どちらかといえば住みにくい	6.2%
住みにくい	1.3%
無回答	0.9%

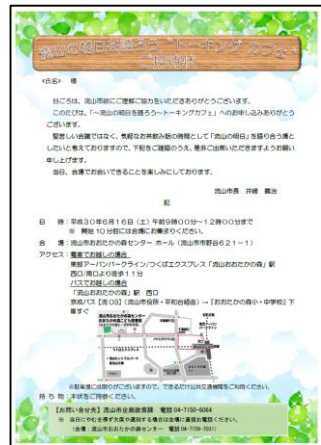
- ◆ 期待する将来の流山市については、上位3つは「交通安全対策・防犯体制の整った安心安全なまち」「緑豊かな自然環境に囲まれたまち」「保健・医療が充実した健康に暮らせるまち」となっています。



～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”を開催しました（6月実施）

- 市民意識調査の対象者へ案内状を送付し、その中から応募のあった方を対象に招待状を送付し、ワークショップ形式により「～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”」実施しました。
- 今回のトーキングカフェは、市民の視点から、今後10年先を見据えた流山市の新しいまちづくりのあり方を検討することを目的として開催し、2日間で合計31名の市民の方にご参加いただきました。また、参加希望者の少なかった北部公民館・東部公民館は、3名の方にご参加いただきインタビュー形式で実施しました

図表2 「～流山の明日を語ろう～トーキングカフェ」案内状、招待状（イメージ）



案内状

招待状

今後こうなってほしいまちの姿（一部抜粋）

（自然の保全と利便性の共存、快適なまち）

- ◆ 自然と便利の共生するまち
- ◆ 緑が多くてやすらぐまち
- ◆ 空が見えるまち
- ◆ 緑が豊かで住民が誇れるまち
- ◆ ほどほどにいなかなまち
- ◆ 50年後も森のまち
- ◆ 四季折々の風景を実感できるまち

（人と人の交流・協働、地域コミュニティ）

- ◆ のんきに暮らせる安心なまち
- ◆ 子ども、子育て世代、要介護者、身体に障害のある方を含め、だれもがいいきと暮らせる、バリアフリーのまち
- ◆ 新旧住民が共存しているまち
- ◆ 市民が行政と協働するまち

（住み続けたいまち）

- ◆ 住むことも働くことも遊ぶこともできるまち
- ◆ 流山で育った子どもが流山で子どもを育てたいと思えるまち
- ◆ 高齢者が現住地で生活を完結させられるまち
- ◆ 若い方も年配の方も笑いがあるまち

（シビックプライドのあるまち）

- ◆ 流山市民が流山市を積極的にアピールできるまち
- ◆ 知名度が低い点を克服したまち

（その他）

- ◆ 新しいものと古いものの両方があるまち
- ◆ 歴史と緑と子育てのまち
- ◆ 自然・文化・歴史を後世に伝えられるまち



事業者懇談会を開催しました（6月実施）

- 地域経済を支える事業者の方々から、インタビュー形式により、流山が市内外からより多くの人たちと消費をまちに引き込むための課題と、課題解決に向けて行政や事業者がどのようなことに取組むべきかについてご意見を伺いました。
- 次期総合計画期間に40代、50代を迎え地域経済の中心となる若手事業者12名及び農業者3名の計15名の方々にお集まりいただきました。

必要な取組み、事業者と行政の役割分担（一部抜粋）

（市内消費の拡大）

- ◆ 地元の農産物を市内で売るため、PRや直売所の設置などを進める。
- ◆ 市内外からより多くの消費を引き込むことができるよう、街の魅力（売り）を磨き上げる。
- ◆ 市外はもとより、市民にも街の魅力を積極的にPRすることで、市民の市内での消費を促す。

（市外へ向けた情報発信、集客）

- ◆ 集客力の高いおおたかの森周辺から、交通手段など市内各所へのネットワークを充実させ、住民・観光客がともに過ごしやすいとする。
- ◆ 既存の観光資源の魅力を、外国人を含む市内外に対して積極的にPRする。

（雇用の促進）

- ◆ 女性も男性も起業を増やす。特に副業解禁の活用を目指し、「副業するなら流山市」をキャッチコピーに税や人事面のサポート機能を充実させる。

（産業振興）

- ◆ 用途地域等の規制を緩和し、商業施設の立地を促進する。
- ◆ 既存企業向けの補助メニューのPR・案内をする。
- ◆ いろいろな農家を回るツアーを実施する。

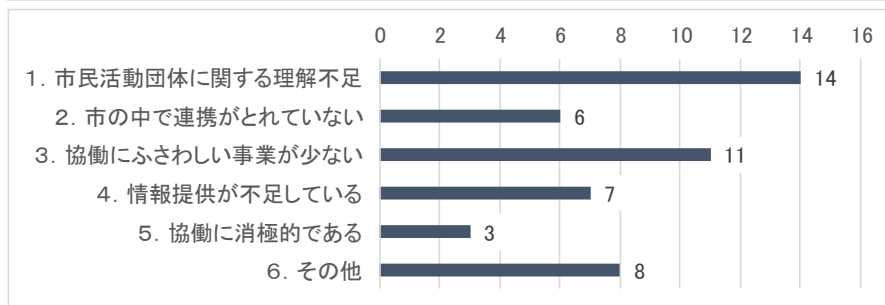
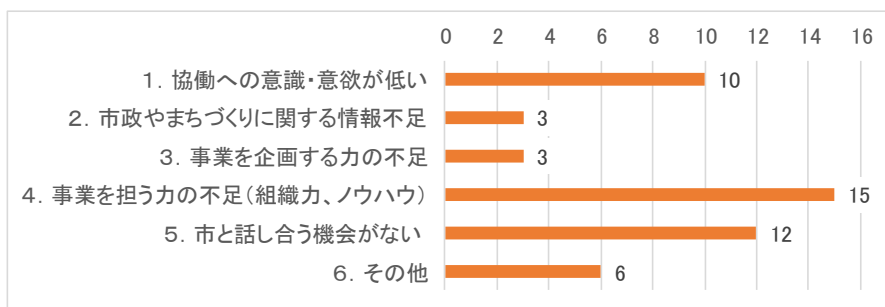


市民活動団体アンケートを実施しました（5～6月実施）

- 市内で公益的な活動を行っている市民活動推進センター登録団体を対象に、活動における課題や、今後のまちづくりに対する考えを伺い、計画策定の基礎資料とするため、アンケートを実施しました。

- ◆ 協働を進めるうえでの課題としては、ノウハウやお互いの情報不足が挙げられています。

図表3 協働を進めるうえでの課題（上段：市民活動団体の課題、下段：市の課題）



中学生意見交換会を開催しました（8月実施）

- 次代の流山市のまちづくりを担う中学生の意見・要望等を把握するため、「こんなまちになったらいいな！流山」をテーマに、今後こうなってほしいまちの姿に対するアイデアを出してもらうことを目的に開催しました。
- 当日は市内の中学校に通学する中学1年生～3年生17名にご参加いただき、ファシリテーター（進行）役は、市役所の中堅職員が務めました。

今後こうなってほしいまちの姿（一部抜粋）

（自然・環境を実感できるまち）

- ◆ 自然と共存するまち。
- ◆ 美しい自然の中で遊び、過ごせるまち。
- ◆ 自然が多く、ショッピングモール等のビルも共存しているまち。
- ◆ 都心にも負けないくらい活気があふれているが、自然も損なわないまち。
- ◆ 開発が進んでも自然が保たれているまち。



（安全・安心なまち）

- ◆ 防災設備が充実し、災害の心配が少ないまち。
- ◆ 治安が良く、ごみのポイ捨てがない、安心して気持ちよく暮らせるまち。

（地域のつながりが強いまち）

- ◆ 地域の中に公共施設や商業施設、コミュニティ施設など、常に市民の「居場所」があるまち。
- ◆ 住民同士の交流が活発で、楽しく、のびのびと子育てができる地域づくりに取り組んでいるまち。

（子育て・教育が充実したまち）

- ◆ 安全で育児に協力的なまち。
- ◆ 安全で子どもたちが自主的に発達していくまち。
- ◆ 教育環境の充実したまち。

（賑わいのあるまち）

- ◆ 大勢の人たちがイベントのために訪れたいくなるまち。
- ◆ 魅力を感じて移住する人が増える、施設が充実した便利なまち。
- ◆ だれもが安心して観光を楽しみ、良いまちだと感じてもらえるまち。

（その他）

- ◆ 住民が愛着を感じられる、「流山といえばこれ」というものがあるまち。
- ◆ 新たに引っ越してきた人でも、歴史を感じられるまち。
- ◆ 自分の子どもや孫にも誇れるまち。



お知らせ・今後の予定

【平成30年9月～12月】

- ✓ 流山市総合計画審議会を実施します。（全6回を予定）

第1回 9月28日（金）18時～

※以降の開催日時は市の広報、ホームページでお知らせしていきます。

発行：流山市 総合政策部 企画政策課
〒270-0192 流山市平和台1-1-1
TEL 04-7150-6064 FAX 04-7150-0111
Eメール kikakukeiei@city.nagareyama.chiba.jp

発行日：平成30年9月

QRコード



流山市 次期総合計画

検索